

3 学校教育の充実

基本目標1 「ふるさと廿日市」に愛着と誇りをもち、社会を生き抜く力を育む学校教育の充実

社会が激しく変化する中で、次世代を担う子どもたちが、「ふるさと廿日市」に愛着と誇りをもつとともに、生涯にわたり、自ら学び、考え、協働して課題を解決する力を身に付けることができるように、「主体的に」、「協働的に」学ぶ取組を進めます。

【令和5年度当初予算の主な事業】

(1) 社会のニーズに応じた教育の推進

- 休日の部活動の地域移行の推進（学校教育振興一般事業） 476万2千円
中学校における休日の部活動の地域移行を段階的に行うため、複数校の運動部・文化部でモデル事業を実施します。

- 水泳授業の環境改善（小学校教育振興一般事業・中学校教育振興一般事業） 1,279万5千円
一部の小・中学校において、屋内温水プール施設を利用した水泳授業により、時期を問わず、安全かつ効果的な水泳指導を試行的に実施します。

(2) 子ども達の状況に応じた教育や心の教育の推進

- 給食費負担の軽減（学校給食管理運営事業） 5,532万円
物価高騰に伴う給食費の負担増加を軽減するため、小・中学校の給食費に対し支援を行います。

- 不登校児童生徒への支援（不登校総合対策事業） 9,172万4千円（昨年度：1億2,731万円）
不登校児童生徒の支援を、より一層充実させるため、青少年指導員を増員し、廿日市地域、大野地域及び佐伯地域に支援の拠点となる子ども相談室をそれぞれ開設します。
また、子どもつながり支援員を各校へ配置し、気になる児童生徒にきめ細やかな支援を行います。